

令和5年度修士課程修了生への祝辞

学位記授与式式辞

令和5年度数学・数理解析専攻主任
ブノワ・コリンズ Benoit Collins

皆さん、心からの祝福を込めて、ご卒業おめでとうございます。新たな春が訪れるこの輝かしい時節に、ここで皆さんと共に祝賀の瞬間を迎えられることを、私は深く喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さんは修士課程を通じて、以前の学部生活で経験したコロナウイルスの制約から解放され、より豊かな学びと交流の時間を享受されたことでしょうか。研究者としての道を歩むことを選んだ方、数学の魅力を次世代に伝える教師を目指す方、そして全く異なる分野に進む方々まで、皆さん一人一人の前途は多岐にわたります。私たちの中には、数学の先生に影響を受けてこの道を選んだ者も少なくありません。皆さんが社会で果たす役割の大きさを、深く認識していただきたいと思います。

皆さんもご存知の通り、私はフランス出身です。博士課程の時、5人で学生室を共有していました。私たちは非常に良い友人となり、20年後の今でも、よく会い、私たちの家族同士も友人となっています。そのうちの2人と私は、アカデミックの数学研究者になりました（海外で活動しているのは私だけです）。1人はヘッジファンドのトレーディング部門の応用研究責任者に、もう1人はパリのGoogleブレイン部門の責任者を経て、神経科学のスタートアップの責任者になっています。これらの人々は最初に純粋数学を研究していました。皆さんの未来も同様に多彩であり、まさにこれからがスタートです。

京都大学での修士課程での学び、出会い、そして経験は皆さんの宝物です。これからもその絆を大切に、広い世界でそれぞれの役割を果たしていくことを願っています。

この重要な節目において、改めて、ご卒業おめでとうございます。皆さんの未来に幸多かれと心から願っています。s